

## 市民活動推進のための 3つの活性化



### 中心なるテーマ

**大学、高校を卒業して社会人になる以前の間性を育成**  
(同時に地元の地域活性化と社会的弱者対策も行う)

### ① 地元商店街やカーシェアなどで地域産業と交通の活性化

#### ▶ 宗像市の空き店舗を利用して、地元の野菜やその他商品を販売

- 1 大学、高校を卒業する前の若者、引きこもりの若者に、宗像市の空き店舗を利用して地域の野菜やその他の商品を売ってもらい、商売・経営の基本姿勢や間性を養い、社会に対応できる人財を育成する。
- 2 1 は地元シニアにノウハウを提供してもらいサポートを受けながら相互交流する。
- 3 遊休バスなどをカーシェアし、利用していない時間を使ってサラリーマンや学生を送迎する雇用を創出。

### ② 人間関係などコミュニティの活性化

#### ▶ 引きこもりの若者 ⇄ 一人暮らしの高齢者 ⇄ 子育て世代のママ など相互の関係を結び社会的な孤立問題を解決する

- 1 学生や引きこもりの若者などで一人暮らしの高齢者の見守り隊（NPO など）を結成し、地域社会からの孤立問題を解決する。
- 2 一人で子育てに悩むママを支援するため、シニアに協力を仰ぎ、子育てに関する経験的ノウハウをボランティアで伝授してもらおう。お世話好きで一人暮らしのおばあちゃんなど、同時に相互見守りの役割をもつ。

### ③ 地元愛や地元イメージの活性化

#### ▶ 宗像市出身で石油元売会社出光興産の創業者、出光 佐三の生涯を映画化

- 1 地元をロケ地として利用したり、エキストラで市民に協力してもらい、市民の一大イベントとする。また、映画の公開により宗像市を広く全国に知ってもらい、若者が地元を誇れるイメージを創出する。
- 2 出光佐三の経営哲学や人生に触れ、若者たちの逆境や困難に負けない精神を養う。
- 3 様々な映画ロケ地として誘致し、実績を重ね、新たな観光名所、観光資源とする。